

# なみえスマートモビリティの実証実験を実施



## パワーアップした“モビリティサービス”の実証実験が行われました

昨年度に引き続き、地域を支える新たな“モビリティサービス”の導入に向けた「なみえスマートモビリティ」の実証実験が行われました。第1弾が11月1日～12月18日、第2弾が1月7日～2月4日に実施され、約500人が参加しました。参加者は「デジタル停留所」やスマートフォンのアプリを使って車両を呼び、町内の移動や買い物、食事の後の交通手段として活用し、配車回数は延べ2000回を越えました。

また、今年度は運行地域の拡大が行われ、第2弾では浪江町内の避難指示解除区域全域でサービスの提供が行われました。免許返納の備えにと参加した人は「電車を利用したいときや体調不良のときに便利だった。お酒を飲みに出かけられて楽しみが広がった。」と話しました。今後、町内の「人を運ぶ」「荷物を運ぶ」移動サービスが充実し、町の活性化につながる事が期待されます。



## 暮らしやすいまちづくりへの実証実験も

1月24日から2月4日まで、「なみえスマートモビリティ」の実証実験に併せて、“VR買い物支援サービス”を活用した「なみえバーチャル商店街サービス」の実証実験も行われ、20人が参加しました。この実証実験では、利用者が専用のアプリで同サービスを利用し、道の駅なみえ・イオン浪江店・柴栄水産で販売している商品を購入することができました。商品は「なみえスマートモビリティ」で当日中に宅配されました。



「スマートモビリティチャレンジ」について詳しくはこちら



### 実証実験担当者に聞きました

予想以上に多くの人にスマホをご利用いただき、またその目的は多岐にわたりました。

この活動の本質は、移動の選択肢を地域に提供することです。シーンに応じて自家用車、スマホ、徒歩を使い分ける賢い移動をお試しいただけましたか。

「なみえバーチャル商店街サービス」は10日間で80件を超える注文をいただきました。スマホが空いている時間に配達をすることで持続可能な事業を目指すと同時に新たなお買い物の手段で暮らしやすさの向上にも貢献します。



日産自動車株式会社  
総合研究所モビリティ&AI研究所  
宮下 直樹さん